

中小学校だより

September 27th, 2019 No. 6

運動会の練習だけでなく、日常の学習も全力で頑張りました その1 中保育教育センターに読み聞かせに行きました

9月17日に6年生児童が中保育教育センターの園児の子達に読み聞かせに行きました。

運動会の練習で忙しい中でしたが、6年生の子ども達は中小学校の図書室で小さい子が喜びそうな絵本を選び、読み方の練習もしました。総合的な学習の時間に、「どんな読み方をすれば小さい子が喜んでくれるだろうか。」について考えました。



- ゆっくりとやさしい読み方にする。 ○声の大きさを変えて読んであげるといい。
- 気持ちを込めて読んであげる。 ○表情も大事だ。
- その子の反応によって読み方を変えるといい。 ○絵を指さしながら、よく見えるようにする。
- ナレーションとセリフとは声や読み方を変えるといい。
- 「このあとどうなると思う?」と想像させながら読んでいく。

話し合いが進むにつれ、表面的なやさしさだけの追究にとどまらず、いろいろと創意工夫していこうとする発言も飛び出し、「さすが6年生の話し合いだな。」と感じました。話し合いの後で、ペアで確かめながら本番を想定して練習を行いました。どのペアも本当に楽しそうにやさしい笑顔で活動出来ていました。

昨年度も、6年生がこの時期に読み聞かせに出かけて、本当に実りの多い交流ができました。しかし、今の6年生にとっては今回が初めての保育園児との交流。子ども達なりに「この活動にはどんな値打ちがあるのか」「どうやって活動の質を高めていくのか」を話し合い、更に自分達の活動と照らし合わせてステップアップしていこうとするところが、まさに「自ら進んで考える」です。

交流の当日は、たくさんの園児に囲まれて、優しい笑顔で読み聞かせをする6年生の姿が、とても印象的でした。そして誰もが「かわかったー!」の一言。6年生の子ども達にとって中保育教育センターの園児たちは格別な愛らしさだったようです。

その2 3年生はリコーダー講習会で頑張りました

9月18日に3年生は4人の地域講師の方をお招きして、リコーダーの研修をしました。これまでの音楽の授業で「ド・シ・ラ・ソ」はソプラノリコーダーで吹けるように練習していましたが、講師の先生から「ドシラソは『トウ』で、ファミレドは半分の息で『ドウ』と吹くといい音が出る」ことを教えていただき、やさしい息で何度も練習しました。授業の最後にはホルストの「木星」や「星に願いを」などの有名な曲をリコーダーアンサンブルで演奏していただき、リコーダーの魅力に存分に触れる1時間となりました。



運動会に向けての練習だけを頑張るのではなく、日常の生活や学習も大切に。これこそが、中小学校でどの学年も大事にしてきたことです。学校行事のスリム化を図るため、いろいろな豊かな体

験活動がなくなっていくニュースを耳にすることが多い今日この頃です。しかし、子ども達にとって大切な体験活動は続けていきたい…そんな願いをもって、いろいろな活動を仕組み取り組んできました。

10月は後期の始まり。クラブ活動や委員会活動もメンバーが入れ替わります。運動会が終わっても、この期間中に身に付けた力は決して無駄にはしない。むしろ、運動会で得た「一体感」が、更に学級の凝集力を高めて、学習や係活動がパワーアップしていく…そんな10月にしたいですね。